



データ統合型車両動態管理ソリューション
「トラエボ プラットフォーム」



新物流2法対応ならトラエボ! 「荷主」も「元請け」も「実運送会社」の 荷待ち・荷役作業 時間を自動集計!

導入までのサポートが丁寧
圧倒的コストで2法対応!

荷主
元請会社



導入まで専用スタッフがフルサポート
まずは、お気軽にお問い合わせください!
<https://traevo.jp/contact/>



「協力会社も含めた」サプライチェーンを可視化

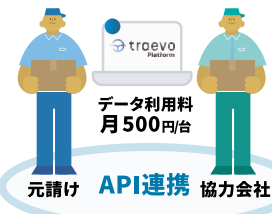
荷主

追加設備は基本不要!既存のデジタコ・ドラレコ・GPSデバイス・アプリ等に対応

矢崎エナジーシステム/トランスロン(富士通)/データ・テック/光英システム/NPシステム開発/システック/三菱ふそう/京セラコミュニケーションシステム/NTTコムビジネス/NSW/三井住友海上火災/JFE商事エレクトロニクス



- ✔ 新たな車両設備への投資は不要
- ✔ デジタコの操作を残さず自動記録
- ✔ 委託先や協力会社の運送実績を把握



- ✔ 拠点ごとの荷役・荷待ち作業時間の把握
- ✔ 車両の位置情報と業務記録を一元管理
- ✔ 収集データを様々なシステムで利用可能

1台500円のみという圧倒的コストパフォーマンス

	traevo Platform	動態管理サービス A 社	動態管理サービス B 社
初期費用	50,000円	50,000円	50,000円 ~ 100,000円
端末費用	0円	40,000円	2,000円
月額費用	500円/台	3,000円 /台	1,300円 /台

サプライチェーンを可視化し、荷待ち・荷役作業時間の自動集計まで!

トラエボの特徴①

車両情報のリアルタイム記録

車両の運行と作業時間リアルタイムに記録します



トラエボの特徴②

業務記録も細かく記録

拠点ごと、車両ごと、委託先ごとの作業記録を集計



トラエボの特徴③

サプライチェーンの可視化

委託先も含め全体の運行実態を一元的に把握



トラエボの特徴④

「原則1時間以内」対応支援

滞留時間記録で、1時間超過ケースを確認&分析



新物流2法対応へのよくあるご質問

Q.1 使用中のデジタコで、荷待ち時間の把握できる?

異なるメーカーのデジタコや動態管理アプリと連携可能!オプション機能を使えば、荷待ち・荷役作業時間を自動集計。データダウンロードもできます!

Q.2 約400台稼働車両の年間コストは?

委託先も含めた400台にかかる年間コストは、200万円(税別)のみ!利用スタートも最短5営業日!設定代行費用も5万円(税別)~。

Q.3 荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドラインに準拠して改正物流関連2法に対応したい

traevo platform で、荷待ち・荷役の作業時間把握、原則1時間以内ルール対応支援、荷主とのリアルタイム情報連携も可能に。設定もサポート。

広がる社会実装

サントリー様との物流改善への取組みや、国土交通省・経済産業省・農林水産省と連携したイオン北海道様との新物流効法への事例など、traevo Platformの社会実装が進んでいます。



積載効率向上のための
共同輸送マッチングサービスも!

traevo nowa



物流と荷待ち・荷役作業時間の可視化、
コスパと徹底サポートで選ぶならトラエボ!

traevo

